# 株式会社垣内(高知県南国市)

## **=高知のエジソン垣内保夫氏が創った産業用機械メーカー=**



- ◆特許権満了によるコピー商品に対抗するため改良技術を開発。
- ●産学官連携による技術開発は、新商品開発の近道となる。
- 海外展開に当たり、商品名の冒認出願対策として、補助金を活用して外国商標出願。

#### 1. 受託生産と自社製品開発により事業が発展

株式会社垣内は、1952年に「高知のエジソン」と呼ばれる垣内保夫氏が創業した産業用機械メーカーであり、受託生産と自社製品の製造販売を事業の両輪とする。創業者は、頼まれ事を断わることがなかった人物であり、空き缶プレス機や海中探査機まで様々なものを開発した。その中でも、株式会社技研製作所と共同開発した無振動くい打ち機「サイレントパイラー」は、同社が受託生産を担当して今日の礎を築いた。創業者の没後は、同氏の功績をたたえるため、高知県工業会が「高知のエジソン基金」を創設し、次代の高知を担う青少年のものづくり意識の高揚に役立てている。

安岡社長は、5年前に高知県庁を辞めて同社に入社した経歴の持ち主である。入社の際に垣内 敬陽現会長から、「当社はこれまでいろいろなものを開発したが、特許関係の取組等が十分に行 われているとはいえない状況にある。これから開発するものは、お金をかけてでも基本的に特許 出願していこう。」と具体的な指示を受けた。それ以降は、受託先の取引を大切にする一方で、 県庁時代の経験を生かして補助金等の活用による自社製品の開発を進めるとともに、その成果は 特許出願するよう心がけることにした。

同社の代表的な自社ブランド製品は、本体装置と消耗品のダイスで構成されたツインダイス式ペレタイザー「粒造くん」である。ダイスは柔らかい構造体であり、異物が詰まったときにダイスが割れて本体に影響を与えない特長がある。1986年に特許を取得してコピー商品を排除してきたが、特許権の満了とともに同業他社がコピー商品であるダイスの販売を始めた。特許に甘えて改良を怠っていたことが要因の一つであるが、困ったことにコピーしたダイスはステンレス製であり、本体装置に影響を与えるのである。「これではいけない。」と、補助金を活用して2倍長持ちする高耐久ダイスを開発し、取引先を回って営業活動を強化した。一時減少した売上は現在では回復しており、新型ダイスは特許出願してコピー商品から守ることにしている。

## 2. オール高知の技術力を結集して搾汁装置を開発

高知県は農林水産王国であるが、それらを加工する機械の多くは、県外メーカー製であった。こうした状況の下で、高知県庁では一次産業向けの機械装置の地産地消に力を入れ、何とか県内の機械メーカーによる製品化が実現できないかと、具体的な検討を進めていた。そこで同社が中心となって、高知県工業会の関係企業と連携をとりながら、「オール高知」による柑橘の搾汁システムの開発をスタートさせた。工業技術センターの協力により、北川村の河島博孝氏の基本技術を採用し、技術指導を受けながら機械を設計、そして改良を重ねながら機械を完成させた。第1号機は直七生産組合、第2号機はJAとさ嶺北の県内組合に納入した。その後、同社の開発にかける情熱を見ていたJAえひめ南から、入札参加にお呼びがかかり、見事受注に成功した。

これまで徳島のメーカーの独占が続いていたが、「オール高知」の力で切り崩したのである。

また、安岡社長は産学官連携にも力を入れている。1社だけでは頭脳に限界があり、産学官それぞれの力を活用することが、新製品開発の近道になる。現在、高知工科大学等県内産学官6団体と共同で、液状食品の冷凍濃縮装置の開発を進めており、その成果は、必ず特許出願に結び付けていきたいと考えている。

#### 3. 粒造くんの海外展開と冒認商標対策

粒造くんは、特に鶏糞のペレット化に適しており、養鶏の盛んな国を対象に海外展開を目指している。既に巨大な養鶏事業者が存在し、かつ、経済が順調に発展しているタイに着目し、マーケット調査に着手している。その際、将来の販売拡大を念頭に置き、先行的に冒認商標対策を講じるため、タイと台湾に2件の商標を出願したが、これらの費用は高知県外国出願補助金を活用している。

最近では、自主的な新製品開発と特許の意識が社内に浸透しはじめている。粒造くんの据付現場で高額商品である海外製冷却機を見て、これを自社で開発すればビジネスになると、現場のニーズを聞き取って開発に取り組んだ。特許を調査した上で新規性を見つけ出した商品が、ペレットクーラー「ひえた君」である。既に特許出願を済ませており、今後の海外展開も見据えている。

安岡社長は、「ダイスの件は骨身にしみた。やはり継続的な開発と特許は大切である。自社製品は、しっかりと特許で守って売上を確保していきたい。」と語っている。

### 株式会社垣内の製品例



▶ツインダイス式ペレタイザー「粒造くん」

# **●会社概要**

【名称及び代表者】株式会社垣内 代表取締役社長 安岡 和彦

本 社 所 在 地 高知県南国市岡豊町中島391-8

資 本 金 1,000万円 従 業 員 数 73名

事業内容 産業用機械器具製造販売、受託生産品製造

電 話 番 号 088-866-2848

U R L http://www.kk-kakiuchi.co.jp/